

JAPAN HERITAGE
日本遺産

過去・現在・未来 仙台筆筒の

平成29年
12/15金・16土

10:00 ▶ 20:00

会場:多賀城市文化センター
展示室・創作室
(多賀城市中央2丁目27-1)

体験
コーナー

まじもの
指物・塗り・金具の体験ができます。
職人の世界に触れてみましょう!

※事前申込不要(最終受付 19:00)

展示
コーナー

仙台筆筒の歴史や製作工程について
わかりやすく解説しています。また、
代表的な仙台筆筒も展示しています。

入場無料

「日本遺産(Japan Heritage)」は(地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

主催:宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会 共催:多賀城市教育委員会 協力:仙台筆筒協同組合

後援:河北新報社 仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ ICBC東日本放送 エフエム仙台 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 産経新聞社東北総局
問合せ先:宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会事務局[宮城県教育庁文化財保護課内] 電話022-211-3683(直通)

仙台筆笥の過去・現在・未来

仙台筆笥は、主にケヤキやクリを用い、木目を活かした塗りをほどこし、牡丹や唐獅子をあしらった金具がついているのが特徴です。現在もお指物・漆塗り・金具の職人による分業で製作されており、宮城県を代表する文化遺産の一つです。また、江戸時代以来宮城の人々にとって生活文化の一部であり、明治から大正にかけては海外に輸出されるほど生産・需要が増大しました。

戦後、生活様式の変化に伴い、仙台筆笥のような大型の筆笥は需要が少なくなり、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災の津波では多くが流出・破損し、大きな痛手を受けました。しかし、平成27年6月「国の伝統的工芸品」に指定され、翌年4月には日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化遺産に認定されたことで、文化遺産としての仙台筆笥の価値が今、再評価されつつあります。



体験 コーナー

大人も子供も楽しめる世界です。
ふるってご参加ください!

事前申込
不要



指物
(さしもの)

模型を使って
三つ引き筆笥を組み立てましょう



塗り
(ぬり)

仙台筆笥に使われる
7種類の塗りに触れてみましょう

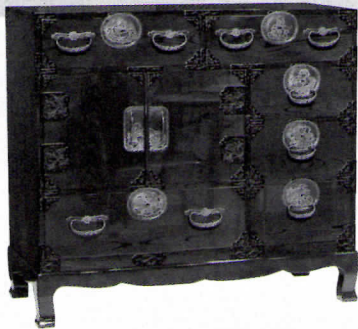


金具
(かなぐ)

好きな紋様を選んで
金具を作ってみましょう

展示 コーナー

仙台筆笥の歴史や
製作工程について、
パネルで分かりやすく説明しています。また、代表的
な仙台筆笥の他、修復した筆笥もご覧いただけます。



Access

●JRご利用の場合
JR仙石線 仙台駅から約20分、
多賀城駅下車、徒歩約7分

●自動車ご利用の場合
[仙台から] 国道45号・産業道
路で約25分

[東京方面から] 東北自動車道
仙台南1.C下車→仙台南部道路
經由 仙台東部道路 仙台北1.C
下車 塩釜方面へ約10分

[盛岡方面から] 東北自動車道
富谷JCT→仙台北部道路→利
府JCT→三陸自動車道 多賀城
1.C下車 仙台港方面へ約10分

※多賀城市文化センターは、市民会
館・中央公民館・埋蔵文化財調査
センターの複合施設です。

